



未来を夢見て Season 2

2021/10/15 No. 103

音楽見学会スタート～コロナ禍での音楽の授業の実際～

10月11日（月）6名の交通指導隊の皆様をお迎えして、1年生対象の交通安全教室が行われました。朝夕交通量の多い道路を抱える本校では、日々の交通安全は学校課題の一つです。毎朝子供たちの様子を見ていますが、どうしても交通ルールを守れない子もいるようです。今朝も「歩道を歩きなさい」「横断歩道では一度止まって」と声を掛ける場面がありました。交通安全は、命に関わることです。全教職員で危機感をもって指導を継続していきましょう。



12日（火）、生憎の雨模様でしたが、5年生の松島野外活動が行われました。当初の一泊二日から、日帰りに変更しての内容でしたが、充実した活動をする事ができたこと何よりでした。出発式、帰校式に臨む子供たちの態度がとても立派で、メリハリのある5年生の子供たちの素晴らしさを改めて実感することができました。5年生の先生方、本当にお疲れ様でした。



そして、14日（木）からは音楽見学会がスタートしました。

実施にあたっては、今年の感染状況を勘案し、校内でも様々な意見が出ましたが、最終的には、今の学校の様子を保護者の皆様にご覧いただき、よい機会と考え、実施することにしました。

早速6年生の授業（畠山靖子先生の専科）を参観させていただきましたが、リコーダーの指使い、鑑賞、指揮、タブレットそして「学校坂道」の合唱と盛りだくさんで、あっという間に45分が過ぎました。

また、15日（金）の4年生の授業（畠山靖子先生の専科）では、リコーダーの指使い、ボディパーカッション、そして「学校坂道」の合唱とこちらも盛りだくさんの内容でした。今回の音楽見学会の実施にあたっては、音楽専科の靖子先生の卓越した指導力があればこそ、の部分もありますが、コロナ前のような、合唱や合奏ができない状況でも、今できる音楽の授業を提案していただいていることに私は価値があると思います。

前半終了の放送で、子供たちに伝えたことですが、音楽は学校教育の中で、とりわけ大切な教科だと私は思っています。それは、子供たちの心を豊かにすることができるからです。以前のように思いっきり歌ったり演奏したりできなくても、友達と一緒に素敵な演奏を聴いたり、音楽に合わせて体を動かしたりするだけで、温かい気持ちになります。靖子先生の音楽の授業から私はこのことを教えていただきました。コロナ禍での音楽見学会の実施を迷いながらも最後は快諾していただいた音楽部の先生方に敬意を表するとともに、これまで企画立案に関わっていただいた加藤先生そして文化的行事部の先生方に感謝申し上げます。

（文責：手代木）